

平成 27 年度第 1 回 地方独立行政法人静岡市立静岡病院評価委員会 会議録

1 日 時 平成 27 年 5 月 1 日（金） 19 時 15 分～20 時 30 分

2 場 所 静岡市役所静岡庁舎 17 階 171・172 会議室

3 出席者

(1) 委員

西田委員長、青木委員、青山委員、足羽委員、松永委員、村上委員

(2) 行政

上松病院局長

＜病院経営課＞ 杉浦参与兼課長、渡辺新経営形態準備担当課長、千須和主幹、
前田副主幹、大竹副主幹、北川副主幹、杉原主査、山田主査、山川主事

【静岡病院】

宮下病院長

《診療部》

＜地域医療支援室＞ 川口参事

《静岡病院事務局》

斉藤事務局長

新井理事

＜病院総務課＞ 鈴木課長

＜病院施設課＞ 永井課長

＜医事課＞ 岡本課長

4 傍聴者 3人

5 議 題

- (1) 視察結果報告
- (2) 平成 27 年度スケジュールについて
- (3) 中期目標案について
- (4) その他

6 会議内容

(1) 開 会

《開会宣言》

(2) 委員長挨拶

○西田委員長 本日は御多忙のところ、御参集くださりましてありがとうございます。

今日の主な会議内容ですが、3つございます。先月 24 日に実施いたしました、堺市への視察についての報告。続きまして、今年度スケジュールの確認。そして、中期目標案についての審議でございます。来年 4 月の静岡病院の独法化に向けまして、いよいよ今回から本格的な審議が始まります。委員の皆様方から、それぞれの御見識、御経験をもとに、ぜひ忌憚のない御意見を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

(3) 事務局（独立行政法人担当理事）紹介

《千須和主幹から事務局（独立行政法人担当理事）について紹介》

(4) 理事長予定者挨拶

○宮下病院長 静岡病院病院長、理事長予定者を仰せつかっております宮下でございます。

1回目の評価委員会は、どうしても外せない所用があり欠席いたしまして誠に申しわけございませんでした。

私どもは静岡市で初めての地方独立行政法人となります。新しい静岡市立静岡病院を市民の地域医療に貢献できるような形で効率のいい病院運営をし、すばらしいものに仕上げたいという意気込みで参っております。

ただ、何分、独法化ということは、私どもにとりまして初めてのことでございますので、先生方の御指導をいただきまして、よりよい病院づくりに邁進したいと思っておりますので、何とぞよろしく願い申し上げます。

(5) 議事

① 視察結果報告

≪「資料1」に基づき渡辺担当課長が説明≫

○西田委員長 ただいまの説明につきまして、御質問等がございましたら、よろしく願いいたします。

(発言者なし)

○西田委員長 それでは、特に御質問がなければ、先へ進めます。

② 平成27年度スケジュールについて

≪「資料2」に基づき渡辺担当課長が説明≫

○西田委員長 ただいまスケジュール案について説明を承りましたが、委員の皆様方、いかがでございましょうか。どうぞ、松永委員。

○松永委員 具体的な会議の日程はどれぐらい前にお知らせいただけるのですか。

○渡辺担当課長 なるべく早めに、委員様の御予定のほうを確認して調整させていただき、この日は大丈夫というところが決まれば、お示しさせていただこうと思っておりますが、なかなか調整に時間がかかっているところがございますので、今回の開催日であるとか、次回についても少し御連絡が遅れています。極力早目に調整して御連絡するようにさせていただきますと思っています。よろしく願いいたします。

○西田委員長 はい、どうぞ、村上委員。

○村上委員 今、先生からのお話なのですが、できましたら2か月ぐらい前にお願ひできればと思います。今回は海外出張で出席できなくなっているものですから、せっかく任命していただいた以上、責任がありますので、できましたらなるべく早目に決定していただきたいと思ひます。よろしく願いいたします。

○西田委員長 村上委員からの御意見ですが、よろしく承ってください。

○渡辺担当課長 はい、極力早い時期に調整させていただきたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。

○西田委員長 実際のところ、私も随分慌ただしいスケジュールになるという感想です。これはこの間、視察させていただきました堺市のケースを参考にしているようですね。1年で用意しようとするこの慌ただしさで、スケジュールリングも大変難しいですね。私もちょっと頭を抱えておりまして、私の時間の都合がつかないときには委員長代行の足羽委員にお願ひ

するということでもよろしくお願いいたします。

- 西田委員長 ほかにいかがでございましょうか。特にございませんようでしたら、先へ進めます。また、最後のところで御質問を給われるようでしたら、お聞きしたいと思います。
- それでは、平成27年度スケジュールにつきましては、事務局の案で実施するということがよろしいでしょうか。ありがとうございます。では、そのようにいたします。

③ 中期目標案について

《「資料3」、「資料4」、「資料5」に基づき渡辺担当課長が説明》

- 西田委員長 どうもありがとうございました。

ただいまの説明につきまして、御質問等がございましたら、よろしくお願いいたします。松永委員、よろしくお願いいたします。

- 松永委員 今の御説明を聞きまして、非常によくできていると思いますし、今まで静岡病院が非常に市民に対して、救急とかいろいろな医療を提供していただいたことは十分わかっております。本当にもう限界ではないかと思うくらいやっています。

1つは、医師とか職員の健康管理をやはりきちんとしていただく必要があると思います。最近、うちの医師会でも医師が亡くなっているのです。60歳の医師会員で、往診先で倒れて亡くなった。結構そういうことがあります。このようなことは、病院にとってものすごい損失だと思うのです。

もう1つは収入をなかなか上げるのは難しいので、今度は出ていくほうですね。

私がお願いしたいのは、コスト意識を持ってほしいということです。どの医師もすごく嫌がるのですけれど、コスト意識を持っていただくことが大事だと思います。

また、診療報酬も改定になるたびにいろいろ変わりますし、なかなか難しい面もあるので、そういったこともある程度、医師に覚えていただくことが必要だと思います。もちろん、良い医療を提供していただくのが一番大事あり、宮下院長もこのことを医師に言うのはなかなか難しいと思いますけれども、例えば、レセプトの返戻率が今まで、ここは何%ぐらいだと。ほかの病院がどれくらいなのか。そういったことも1つの目安になるかと思えます。返戻率をできるだけ減らしていくことも大事ではないかと思えます。

細かくなりましたけれど、この中期目標でそれに基づくものをつくっていただきたいと思えますので、よろしくお願いいたします。

- 西田委員長 御意見をありがとうございます。では、村上委員、よろしくお願いいたします。

- 村上委員 ちょっとつかぬことをお伺いしますが、職員の方について、お医者さん、看護師さん、その他の方を含めてなのですから、メンタルヘルスという問題は、実情としてどういう形になっていて、どういう対応をなさっているのかお聞かせください。

- 西田委員長 これは、宮下院長にお伺いします。

- 宮下病院長 今、お話しのように、特に医療職はかなり激務でございまして、日々、激しいストレスの中で、それでも自分のモラルを高く保ってやっております。私、同じ職種の者から見ましても頭が下がる思いがすることがよくありますが、やはり時々そういう心の問題が発生するときに、実際でございます。

臨床心理士さん、もちろん患者さんに対応するために一義的には勤務しておられるわけですが、その方が自発的に「こころ便」という、院内に対する情報ペーパーを発信して下さっております。今日、ちょうどその「こころ便」が出たところですが、今ですと、特に就職なさった若い方、「5月病」という言葉がございまして、けれども、「5月病」というのはこんなことですよという内容の御紹介。それから、何か今、困っていることはないかということ、割とわかりやすい言葉で発信して下さっております。そういうことがありましたら何でも私のところへ、ということをおっしゃって下さっており、実際にそのような問題が発生し

たときに、かなり私どもが無理を言って、それがたとえ時間外であっても、ぜひお願いしなすということを快く引き受けていただいております。そういうふうにして、できるだけ問題が大きくならないように、できるだけいい形で解決できるように努力をしております。

○西田委員長 どうも、ありがとうございます。

ほかに、委員の先生方で御意見がございますでしょうか。

冒頭での宮下院長からのお話にもございましたが、県立では独法化をやっていますけれども、市立静岡病院は静岡県内の市立病院としては初めて独法化するというところでございます。その意味で手探りの部分があります。

そして、それをどう準備するかということで、県外の市立病院で先行しているところを見学させていただいたわけです。そのうえで、市の担当の皆様方が必要項目を整理して、本日の案が出てきたということだと理解しております。

この後に、静岡市らしさが盛り込まれるものと思います。そこで、委員の先生方から御意見を給わって、次回にまた進捗があるものと理解しております。そういう意味で、委員の先生方で何か御意見がございましたら承りたいと思っています。青木委員、お願いいたします。

○青木委員 私の場合、ちょっと具体的に過ぎるかもしれませんが、資料5の6ページに、「その他業務運営に関する重要事項」ということで、「環境に配慮した病院運営」とありますが、これは具体的にどのようなことでしょうか。それを聞いて、また自分の意見をまとめたいものですから。

○西田委員長 では、事務局、お願いいたします。

○渡辺担当課長 まず、身近なものとしましては、照明機器におきまして、通常の電球から消費電力の小さいものに変えていくであるとか、最近の電気機器につきましては、電気消費量に係る性能がよくなってきているものもあると思います。場合によっては供給電源を使わずに電気を起こすということも考えられますし、色々そういったものを小さいものでも積み重ねていって、できるだけ省エネルギーで実施する。そういうところから始める必要があるのではないかと考えております。

○青木委員 非常に良いことだと思います。LED照明、ソーラー発電、風力発電がそうですね。

もう1つ進んで、これは病院では不可能かもしれませんが、暑さに強く手入れがあまり要らない草木や花を屋上で育てれば、天然の断熱材として働き、省エネルギーになると思います。また先ほどメンタルのことをおっしゃってございました。患者さんが狭い廊下みたいところで3時間も4時間も待っていることは、先生方が御飯も食べる時間もないくらい必死になってやってらっしゃっているのだから、やむを得ないと思います。中日新聞でこの前、掲載されたお医者さんの、私の健康法で、ちょっとお名前は忘れてしまったのですけれど。

○西田委員長 小野寺副院長のことですか。

○青木委員 そうです。「昼食はなし」と書いてありました。これほど忙しいのだから、待つことはやむを得ないことだと思います。けれども、例えば、屋上かどこかに花がいっぱいあって、そういうところで待って、そろそろ順番ですよ、なんて連絡が来れば、それこそ患者さんの精神的にも非常にいいことですし、さすが静岡病院ということになるのではないかと。これはすぐということではないのですが、長期的にそういうようなことも取り入れていただければ、自分が患者になったときにうれしいと思います。持ち込む草花は雑菌の心配がありますが、病院で管理する草花なら大丈夫だと思いますが。

○西田委員長 どうもありがとうございます。院長、どうぞ。

○宮下病院長 ただいまの御質問に関連してですけれど、御説明のあったような省エネルギー問題のほかに、病院というところは非常にたくさんのプラスチック製品、ディスプレイといまして、廃棄物が大量発生する場所がございます。1つの手術を行いますと小さいバケツに一杯ぐらいのものが発生いたします。それはある意味では省力化なのですが、一方で環境破壊につながるということで、今、そこのところをかなり見直しております、

ディスプレイ、廃棄するというのではなくて、リユース、再生可能な医療機器をできるだけ増やしていこうではないかと、こういう取り組みを進めております。

もう一点、花について、精神的、心理的な効果ということの御発言がございました。ちょうど、先ごろ静岡新聞さんがとてもすばらしい記事を書かれまして、その記事について、ぜひ記者さんにお話を伺いたいと思いました。その記事の内容は、花をお見舞いに持つていくことについてですが、花は、土でありますとか、茎、葉、そういうところに実は細菌がいます。病院という環境で、免疫力が落ちたような患者さんのところでは、それが細菌感染のもとになるのではないかとということで、私どももかなり前から、花は病院では遠慮してくださいということをホームページでも謳っているわけでございます。

一方で、欧米では、昔の歌で花はどこへ行ったというような歌がございましたけれども、病院からどうして花がなくなったのか、こういうふうな声も上がり出しまして、本当に花が感染源になっているのかどうか見直しもされております。事実、私が参りました東京の国立国際医療研究センター、感染症に係る大本山なのですけれども、玄関のところに花屋さんがございまして、病院の中への花の持ち込みはおそらく全部は制限していないのです。

この前の静岡新聞の記事にあったように、病院から花が排除されているということとは異なる対応が行われているわけでございまして、私どもも一旦、花を排除した環境が、本当にそれが必要なのだろうかとかということを見直そうと思っていた矢先でございます。色々お調べになった静岡新聞の記者さんのお知恵とかも伺った上で、ある部分は花を復活させて、病院の中に潤いを取り戻したいと考えております。

○西田委員長 どうもありがとうございました。私も、県内の公立病院を幾つか、見学に参ることがあったのですが、ある病院では屋上にお庭と申しますか、芝生を敷いて試しておられるところもございました。花に関しましても、例えば川崎医科大学付属病院のガーデニングは有名でございます。色々工夫ができるかと思っておりますので、またお考えをまとめられるときに取り入れてくださればと思います。

ほかに委員の先生方の御意見はいかがでございましょうか。足羽委員、お願いいたします。

○足羽委員 2つあるのですけれども、1つはこの中期目標の「事務部門の強化」のところに関連するのですが、事務局から堺市では市派遣職員から法人職員への切り替えが3年の間に非常にスムーズに進んだということをお伺いしましたが、その辺は静岡市の場合、具体的なものがイメージ的におありなのかということですか。

もう1つは、4ページで「患者ニーズに応じた病院環境の提供」とありますが、当然、入院患者さん、外来患者さん、既にアンケートとかを色々なされていらっしゃる部分もあると思いますが、そうしたものを踏まえて、何か新しいことを考えていらっしゃいますでしょうか。

例えば、私、数年前に、小児病棟でのセラピー犬の活用についてNHKの特集を見ました。極端な例かもしれませんが、こういったようなことを、新しい発想として取り入れていこうとする方向性がおありなのか伺えればと思います。

○西田委員長 今、御質問が2つございました。1つは、この間の堺市立病院の視察のときにお話もありました、独法化後のスタッフについて、市職員からプロパー職員へ移行する件。それから、もう1つは本日の案に出ておりました、患者ニーズに応える点についての御質問ですが、その2点について事務局からお答えいただけますか。

○渡辺担当課長 まず、「事務部門の強化」として、事務職員について、堺市では3年間で95%をプロパー化したという内容をお聞きしまして、大変感銘しました。堺市がうまくいったのは、それをまとめるリーダーシップのある職員が核となって、そういった体制を切りかえることができたからではないかと考えております。ただ、これが静岡病院に当てはまらないかということ、そんなことはないという思いでおります。

堺市がプロパー化を実施することによって、その事務職員の病院に対する帰属意識というのが大変高くなってきているということ聞いております。誇りの持てる病院ということを進

めていくためにも、プロパー化を早く行うことが必要と考えております。現在、プロパー化を進めるに当たっての人員の調整、配置の都合について、市の人事部門との協議を行っている状況でございます。

それから、患者ニーズを把握した上でということ、具体的な内容等があるのではないかとこのお話でございますが、確かに患者に対する満足度調査というのは定期的を実施しております、点数について静岡病院の場合は高いというように認識はしておりますが、御意見ということでいただいている部分もあります。それについては今後、中期目標から中期計画に落とし込む中で、どんなものを示すのかということになると思います。

例えば、待ち時間ですと、待っている間に講義のようなものやってくれて、非常に良かったということもございます。どんな形で中期計画に示していくかということになるかと思いますが、またそれは改めて案をお示ししたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

○西田委員長 院長、お願いします。

○宮下病院長 外科医の立場からちょっと補足いたします。

御承知のように、一時期、デイサージャー、日帰り手術というのがとても喧伝された時代がございました。かなり厚生労働省が日帰り手術ということに、政策的にインセンティブを与えて誘導しようとした時期があったんですけども、厚生労働省のほうも軸足が定まらずに、日帰り手術というのはやればやるほど赤字が出るというような状態になりまして、今のところ日帰り手術という声はちょっとトーンダウンした時期が続いております。

恐らく、今後、患者さんのニーズによっては、特にお元気で1日も早く社会復帰をして、また働きたいという方に対しては、デイサージャーということが政策的にもう一度取り上げられてくるのは、そんなに遠くないと私は認識しております。

例えば胆石症の手術ですとか、ヘルニアの手術、比較的、中程度以下の軽症の手術で、そういう需要が出てくるのが予想されますので、それに対してはできるだけ速やかに対応できるように進めるつもりです。

もう1つ、御質問がありました、セラピー犬のことでございますが、私自身はセラピー犬というのは実際には名前だけ知っておりまして、運用につきましては、全く知らないのですけれども、病院で介助犬を見かけると、本当にすごいものだなと思います。動物の能力、それと人とかかわりに、感銘を受けることが多いのですが、セラピー犬というのは、恐らく小児科医療ですとか、療養型のところに一番なじむのではないかと考えております。私どもの病院は比較的ばたばたした、急性期医療主体の病院でございますので、セラピー犬を活用できる場面があるかどうか、実は、私、まだ検討したことがなかったのですけれども、そういう御質問をいただきまして、今後、活用できる場があるのかどうかということ、まずは考えてみたいと思っております。

○西田委員長 どうもありがとうございました。足羽委員、よろしいですか。

青山委員、いかがでございましょうか。

○青山委員 今まで静岡病院さんが本当に市内で先頭を切って、医療を進めてきたというのは、以前から存じ上げているのですけれども、今、独法化に当たって、静岡というのはちょっと珍しい街で公的病院が5つぐらいある中で、どういった立ち位置でこれから進んでいくのかというのを、足場を固めるような形で出していただけたらありがたいなと思っております。

この中期目標に関しては、本当に盛りだくさん盛り込まれておまして、これを全部つくるのは大変だと思っておりますけれども、ただ、つくっただけでは意味がないものですから、職員の方々が理解できるように、もう少しみ砕いたような、どうやったらできるのかというような、具体的なことを盛り込んでいただければいいのではないかと考えています。

○西田委員長 ありがとうございます。

青山委員は地元の医療提供体制をよく御存じでございますので、御意見としまして、1つ

は静岡市内の大きな公的病院、いわゆる県立、市立、それから日赤、済生会、厚生連とあるわけですが、その中での立ち位置を明確にされることを、目標の中で望んでおられます。別に敵対する必要はなくて連帯ですね。

○**青山委員** メインでやっていただかなくてはいけないと思っていますし、現実に医師会からも患者さんをお願いし、快く受けていただいているものですから。変な意味で言っているのではなくて、やはり全てがうまく行く、一緒になってうまくいかないと、静岡の医療は恐らく崩壊すると思いますので、そこだけが一番心配なのです。静岡病院だけが突出するものもよろしくないと思いますし、現実ではちょっと突出しかかっているものですからそういった意味も含めて、うまくやっていただければと思っています。

○**西田委員長** もう1つは中期計画ですね。目標にはたくさん盛り込まれておりますので、後で目標をもとに中期計画ができて、その中期計画が評価されることとなりますので、現実味のあるものという御意見だったと思います。

では、局長お願いいたします。

○**上松局長** 立ち位置の話になりますけれども、静岡市は2次医療圏が行政区域とちょうど一致しているという、非常に珍しい地域でございます。静岡地区には、青山委員がおっしゃったように、公的病院がたくさんあるわけですし、そういう中の病病連携をどういうふうに考えていくかということ。あるいは、2025年問題がありまして、国のほうも病院の再編・ネットワーク化というものを進めておりますので、そこらを含めて何らかの形で中期目標に表現できればいいと思っております。

それから、余り盛りだくさんだとどうだろうかというお話でございますが、やはり行政側としては濃い、薄いはあるかと思えますけれど、こういうものを望んでいるのだということをお示しして、先ほど医師等のメンタルヘルスの話もございましたものですから、余り負荷のかからないというようなことも考慮しながら、しかしやるべきことはしっかりやってもらわなければというようなスタンスで定めてまいりたいと思います。

○**西田委員長** ありがとうございます。ほかには御意見はいかがでございましょうか。

(発言者なし)

○**西田委員長** それでは、中期目標につきましては、本日の評価委員会におけます協議の結果、また5月12日までに提出される各委員からの意見に基づきまして、事務局で案を再度検討の上、次回の評価委員会で協議するという手順で進めたいと考えますが、いかがでございますか。よろしゅうございますか。ありがとうございます。それでは、そのようにいたします。

④ その他について

《次回日程について渡辺担当課長が説明》

○**西田委員長** 事務局から次回日程についての説明ですが、何かご質問はございますか。

(発言者なし)

○**西田委員長** ございませんようでしたら、その他として、委員の皆様方から何か御意見がございましたら、承りたいと思います。

(発言者なし)

○**西田委員長** 特に無いようですので、本日の議事を終了いたしまして、事務局のほうに進行

をお返しいたします。

(6) 閉 会

○上松局長 本日は夜分、お集まりいただきまして、また大変多岐にわたる御意見を頂戴いたしましてありがとうございます。今日いただきました御意見をもとに、また再検討させていただきたいと思えます。

次回も、どうぞ忌憚のない御意見をいただければと思っておりますので、よろしく願いいたします。

地方独立行政法人静岡市立静岡病院評価委員会

委員長 西田 在賢